

第一跨線橋の老朽化に伴う対策について

日 時：①令和3年3月21日（日） 14：00～15：30

②令和3年3月22日（月） 18：30～20：00

場 所：芦屋市民センター（市民会館） 401室

参加者：①19名

②17名

1. 第一跨線橋の撤去について

質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
撤去する前提のシナリオとなっていることがおかしい。	架設から94年経過していることや、耐震性の問題、作業時間の制約により補修に多額の費用を要することから、撤去を検討していました。今後、コンサルタント等から意見を聞き、補修及び補強も踏まえた最適な対策案を整理し、ご説明いたします。
技術は進歩しており、現在の橋を補強できないわけがない。	
阪神淡路大震災でも、他の構造物は潰れたりしたが、この橋は落橋もしなかった。それほど丈夫な橋なので、補強で対応できるはずだ。	
現在は歩行者専用だが、元々車が通っていた橋であり、強固な作りになっているはず。補修で対応可能だと思う。	
維持補修をしてほしいという市民の意見は聞かないのか。	
どうしたら残せるかを考えるべき。	
悪くなれば、その都度修繕すればよい。	
橋が邪魔なため、鉄道事業者が出来ないと言っているのではないのか。	法令に基づき点検した結果、管理者として安心して利用していただくには、対策が必要と判断しています。

<p>撤去した後の架け替えか集約かではなく、補修するの か撤去するのかを定める段階で、市民の意見を聞いて もらいたい。</p>	<p>今後、コンサルタント等から意見を聞き、補修及び補強も踏まえた対策案を整理し、ご説明いたします。</p>
<p>残す、残さないは主役である市民が決めること。</p>	
<p>この橋の重要性をわかっていない。</p>	
<p>今の橋を残す、残さないはお金の問題ではない。</p>	<p>予算も限られておりますので、ライフサイクルコストを考慮し、最適な対策案を検討いたします。</p>
<p>今まで管理をしていないのに、急に撤去と言われても納 得できない。</p>	<p>以前は、異常が生じてからの補修工事を実施していたことから、現在のような省令及び法令点検は実施していませんでした。そのため、鉄道敷から確認及び点検ができていませんでした。</p>
<p>全く管理をしてこなかった、国鉄時代からの怠慢が原因 ではないのか。</p>	
<p>役所の人だけで考えず、有名な技術者にお問い合わせよ い。</p>	<p>今後、コンサルタント等から意見を聞き、最適な対策案を検討いたします。</p>
<p>国鉄が造ったのであれば、鉄道事業者に費用を支払わせ るべき。なぜ市が全額負担なのか。</p>	<p>道路と鉄道との交差に関する建設省・日本国有鉄道協定（昭和31年12月18日成立）において、跨線橋は道路管理者が管理することと定められました。そのため、費用は全て市の負担となりますが、費用を抑えるよう協議していきます。</p>
<p>耐震補強を実施しているのではないのか。</p>	<p>橋脚に鋼板を巻いていますが、耐震補強のためではありません。阪神淡路大震災でコンクリートの剥離が見受けられたため、これ以上の剥離を防止するための対策として施されたものです。</p>
<p>パブリックコメントをするべき。</p>	<p>説明会の開催やホームページへの掲載を通じて、周知に努めます。ご意見については、いつでも承ります。</p>
<p>橋を撤去すれば、鉄道を渡る方法が一つ無くなるが、災害 が発生した際は、それをどのようにカバーするのか。</p>	<p>ご意見の主旨を踏まえ、最適な対策案を検討いたします。</p>

子供の送迎を自転車で行っており、橋を利用しているが、この橋であれば車も通行しないので、使える限りは利用したい。	今後、補修及び補強も踏まえて、最適な対策案を検討します。
補修と架け替えの費用比較を教えてください。	今後、コンサルタント等から意見を聞き、対策案をまとめる際には、費用についてもご説明いたします。
防災面からみても、この橋は貴重だと思うので、撤去するのであれば、必ず架け替えを望む。	

2. 第一跨線橋撤去後の対応（案）について（架け替え）

架け替えはあり得ない。修繕して今の橋を維持するべき。	架設から94年経過していることや、耐震性の問題、作業時間の制約により補修に多額の費用を要することから、撤去を検討していました。今後、コンサルタント等から意見を聞き、補修及び補強も踏まえた最適な対策案を検討いたします。
この財政難の中、架け替えなどせずに補修で持たせるべきでないのか。	
バリアフリー基準でスロープが長くなるというが、国の基準というのは全国基準であり、市町村とは状況が違う。	スロープの勾配等、バリアフリー基準については、身体障がい者団体と協議を行い、条例で定めています。管理者として、安全・安心で使いやすいものを造る必要があることから、基準は遵守する必要があります。
現状の基準を満たしていないスロープでもきついとは思わない。	
理想的な基準を守る必要はない。国と交渉すればよい。	
現状の形のまま、架け替えてほしい。	様々な事故及び災害等を経て、安全のために基準が改訂されています。管理者として、安全・安心に利用していただくため、最新の基準に基づく橋を造る必要があることから、形状は変わります。
現状の位置で架け替えを行うのか。	周辺環境に一番影響の少ない方法は、現状の位置での架け替えと考えていますが、現場条件によっては、違う位置での架設となる可能性もあります。
国から補助金はもらえるのか。	国庫補助金の対象工事であることから、補助金を活用します。
鉄道事業者をもっと巻き込むべきだ。	まだ協議が始まったばかりであり、今後、詳細な協議を行っていきます。

架け替えに要する費用はいくらか。	架け替えに要する費用は、算定できておりません。鉄道を跨ぐ橋梁に関しましては、様々な制約や現場条件があり、市で概算費用を算出することも困難な状況です。
------------------	--

3, 第一跨線橋撤去後の対応（案）について（集約）

遠回りになると、お年寄りにとっては大変なことになる。市民目線や、弱者目線で考えて、納得してもらえる対策を考えるべき。	市民目線や弱者目線も踏まえて、安全確保についてどのような対策が最適なのか検討いたします。
小学生だけでなく、中高生も多数の生徒が通学路として使用している。	
現在の橋が車も通らず一番安全。	
芦屋橋は、歩道が狭く、ガードレールもないため危険だ。	
芦屋橋は、通学時間は車両の交通が多く危険。	
芦屋橋よりは、ふれあい橋のほうが安全だと思う。	
芦屋橋で電車を見せている親子がいるが、歩道が狭く、すれ違うことができないため、通行する際は車道に降りなければならぬが、周辺の車両はマナーが悪く、何度も危ない思いをした。	
芦屋橋、ふれあい橋は大丈夫なのか。	
迂回路とする芦屋橋、ふれあい橋周辺は、スピード違反や信号無視等、マナーの悪い車が多い。	安全性の確保につきましては、どのような対策が最適なのか検討いたします。また、マナー違反の車両に関しましては、今後、警察とも協議を行いたいと思います。
JR 構内を通学路として利用してはいけないのか。	教育委員会を含め、関係機関と協議を行い、検討いたします。

4. その他

交通量調査は，春夏秋冬すべてで行うべきだ。	今後，検討いたします。
芦屋市民でない職員が多いため，市民目線で考えていない。	市民目線で最善の対策案を検討いたします。
国道 43 号の横断歩道橋は，あまり人が通らないにもかかわらず，時間とお金をかけて造っている。無駄なところにお金をかけて，肝心なところにお金をかけていない。	国道 43 号に架かる横断歩道橋に関しましては，芦屋市の管理ではないため，どういった経緯で架け替えたのかは，分かりかねますが，本橋梁においては，どのような対策案が最適なのか検討いたします。
周知方法が悪い。もっと皆がわかるように周知するべき。	周知に関して，不手際があり，申し訳ございませんでした。今後の説明会等における周知方法に関しましては，改善いたします。
市で主催する説明会であるにもかかわらず，市の受付が把握していないとは何事だ。	
老人にやさしいまちづくりをしないと，芦屋ブランドに傷がつく。	ご意見として，承ります。
撤去後の第三案として，地下道はないのか。	今後，コンサルタント等から意見を聞き，1つの対策案として検討いたします。
橋が架けられた経緯は何か。	国鉄の複々線化に伴い，安全に線路を渡る事が困難となったため，国鉄によって架設されたと推測されます。
震災後と今で，付近の人の流れがどう変わっているのか知りたい。	過去のデータがあるか確認し，データがあれば検証いたします。